

笠松町
第6次総合計画策定にかかる
住民・中学生意識調査

【結果報告書】

令和2年9月

岐阜県 笠松町

1. 調査の目的

令和2年度に「笠松町第6次総合計画（令和3年度～令和12年度）」を策定するにあたり、町が進むべき方向性についての住民の考えを聞き、住民の意見をまちづくりに活かすために「住民意識調査」、「中学生意識調査」を実施しました。

2. 調査概要

『住民意識調査』

調査方法：

- Web アンケート（笠松町公式 LINE 登録者及び笠松町公式ホームページにて周知）
- 笠松町商工会、農業委員会、いきいきクラブ連合会へ回答を依頼

調査期間： 令和2年7月15日（水）～8月9日（日）

回答者数： 402件

『中学生意識調査』

調査対象者： 笠松中学校3年生生徒（全員）

調査方法： 直接配布、ボックス回収

調査期間： 令和2年7月15日（水）～7月29日（水）

回答者数： 68件

3. 調査票

『住民意識調査』

設問数： 15問

『中学生意識調査』

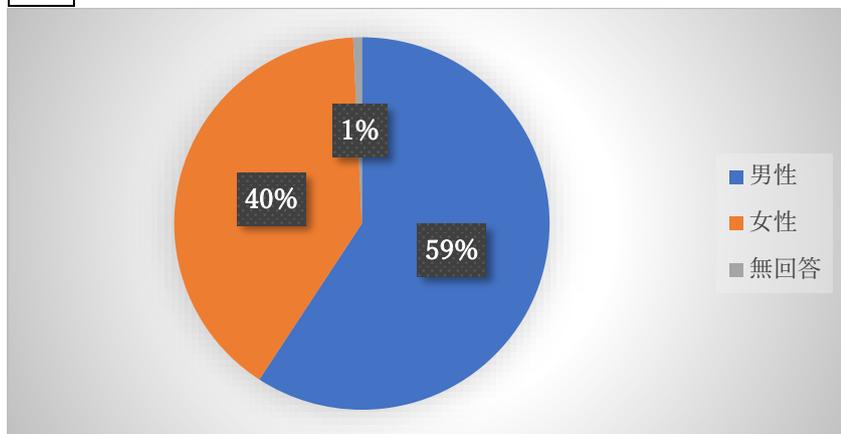
設問数： 15問

4. 調査結果

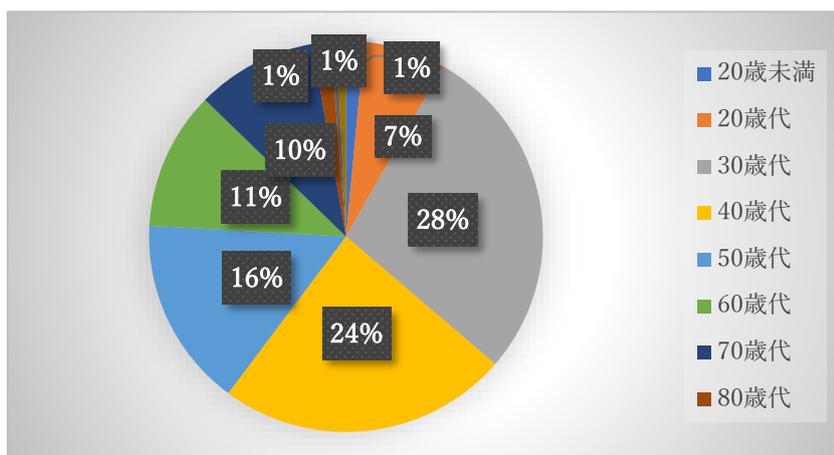
(1) 回答者の属性

『住民意識調査』

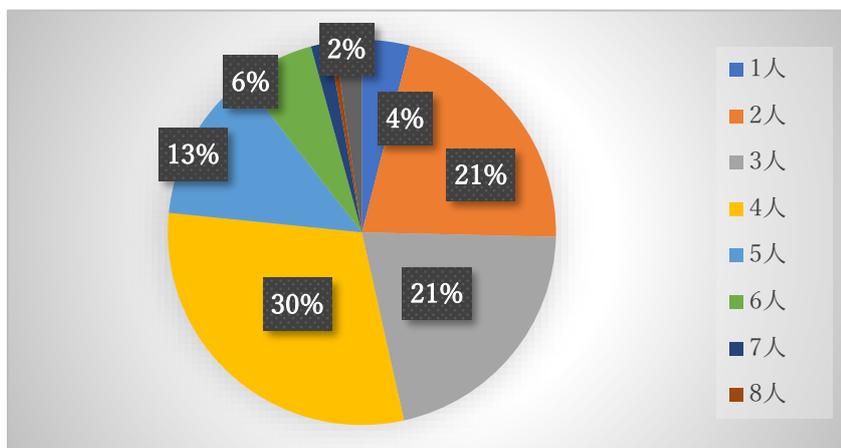
性別



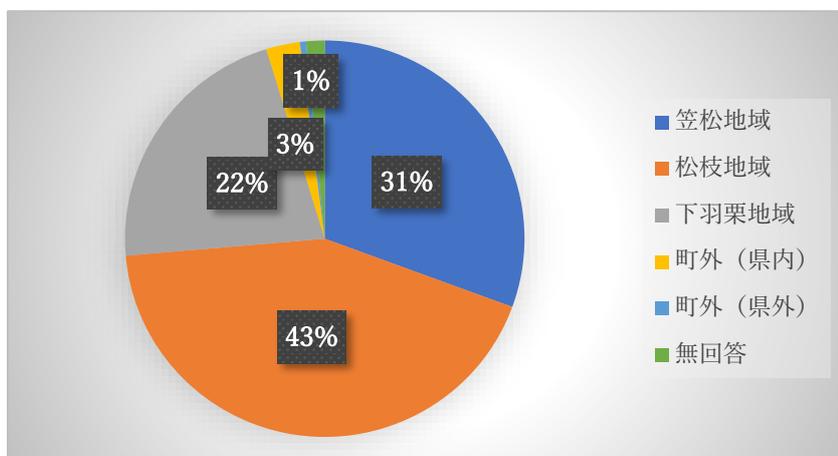
年齢



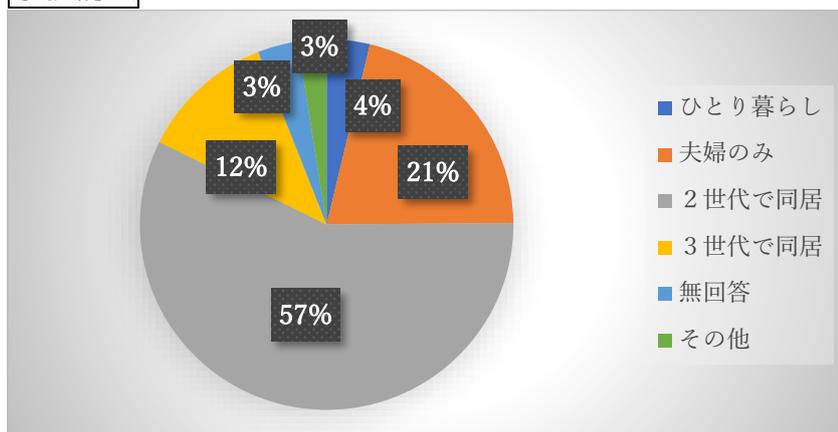
世帯の人数



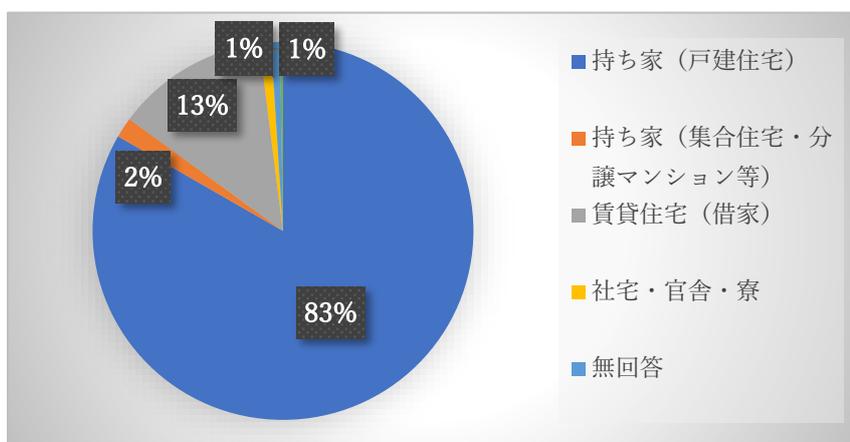
お住まいの地域



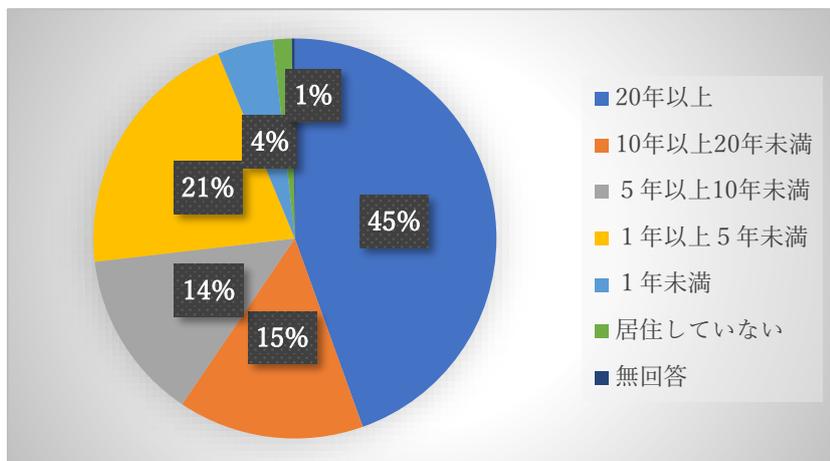
家族構成



居住形態

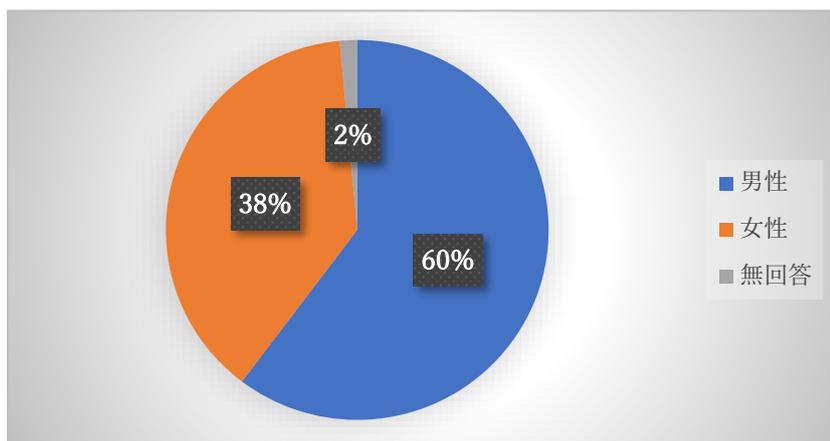


居住年数

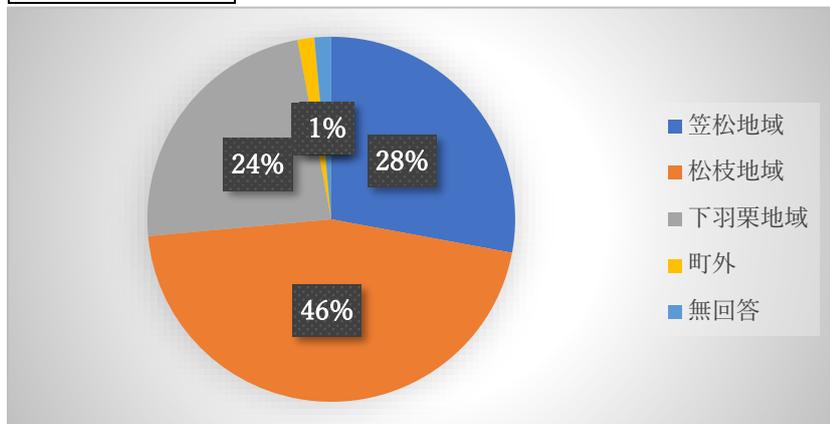


『中学生意識調査』

性別



お住まいの地域



(2) 今後の定住意向について

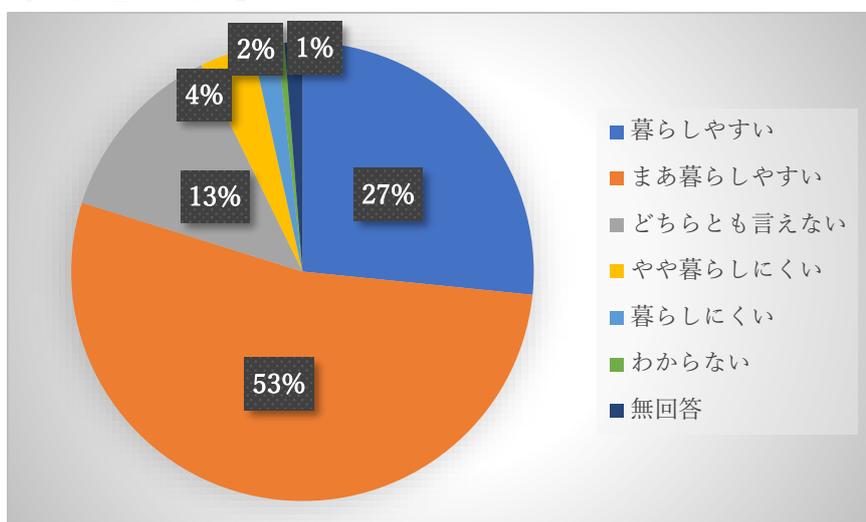
笠松町を暮らしやすいまちだと思うか、今後、住み続けたいと思うか、についてお聞きしました。

①あなたは笠松町を暮らしやすいまちだと思いますか

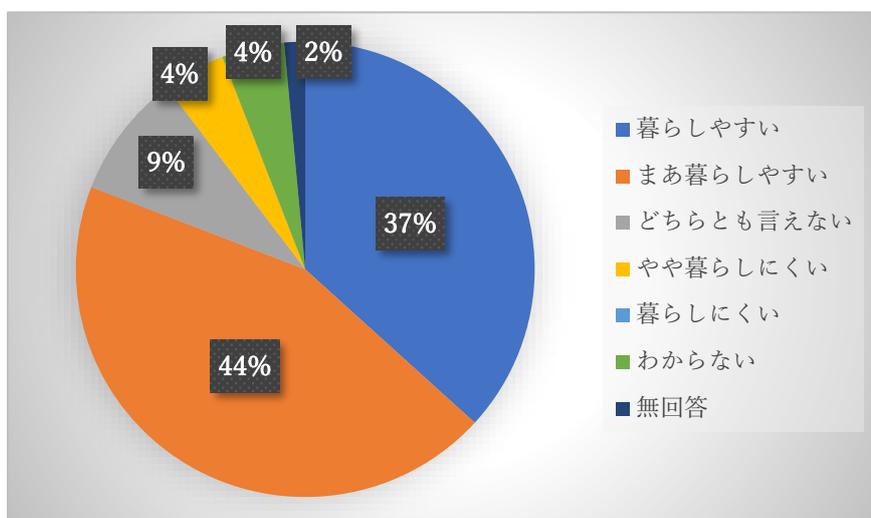
住民意識調査では、「まあ暮らしやすい」が最も多く、53.2%となっています。次に「暮らしやすい」が26.6%となっており、「暮らしやすい」と「まあ暮らしやすい」を足した肯定的な意見が79.8%となっています。

中学生意識調査では、「まあ暮らしやすい」が最も多く、44.1%となっています。次に「暮らしやすい」が36.8%となっており、「暮らしやすい」と「まあ暮らしやすい」を足した肯定的な意見が80.9%となっています。

『住民意識調査』



『中学生意識調査』

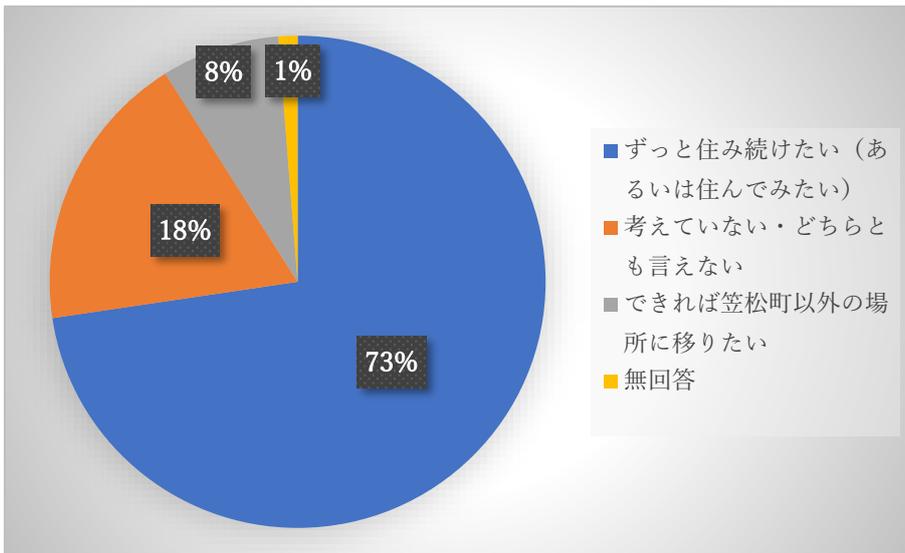


②あなたは今後も笠松町に住み続けたいと思いますか

住民意識調査では、「ずっと住み続けたい」が最も多く、72.6%となっています。

中学生意識調査では、「できれば住み続けたい」が25.0%、「ずっと住み続けたい」が7.4%となっています。「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を足した定住意向の回答は32.4%となっています。

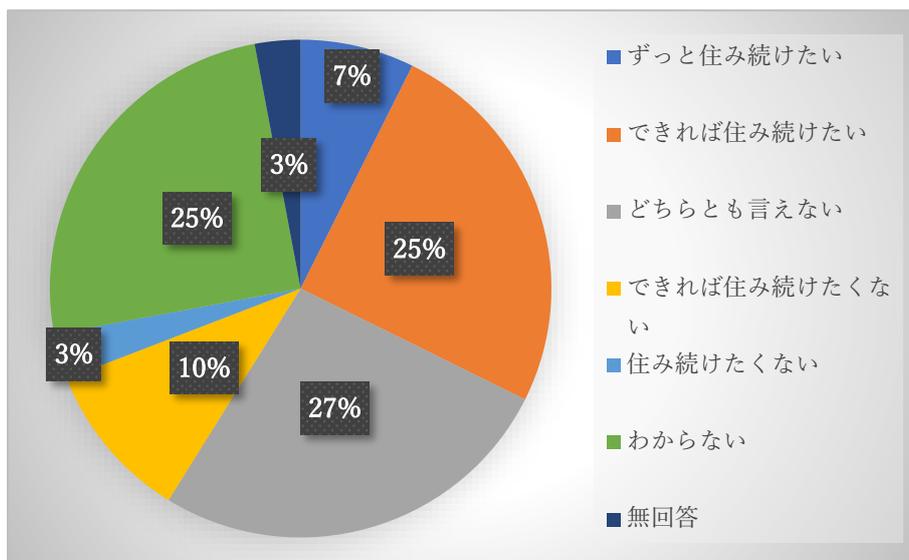
『住民意識調査』



【理由】上位各5件

◎ずっと住み続けたい（あるいは住んでみたい）	回答数740件
①生活環境が良いため（騒音等がない）	13.2%
②通勤に便利なため	12.7%
③日常の買い物に便利なため	11.2%
④親・親戚・知人関係のため	10.3%
⑤治安が良いため	10.1%
◎できれば笠松町以外の場所に移りたい	回答数 96件
①日常の買い物に不便なため	10.4%
②子育ての公的な支援制度が充実していないため	9.4%
②レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため	9.4%
④生活環境が良くないため（騒音等）	7.3%
④老後の医療・福祉等の費用負担が多いため	7.3%

『中学生意識調査』



【理由】上位各3件

◎ずっと住みたい（あるいは住んでみたい）	回答数24件
①家族や友人が住んでいる	62.5%
②生まれ育った場所を離れたい	20.8%
③希望する職場・職業がある	8.3%
◎できれば笠松町以外の場所に移りたい	回答数14件
①都会で生活がしたい	50.0%
②新たな環境で自分の力を試したい	21.4%
③親から離れて自立したい	14.3%

中学生に対して、将来どのような職業につきたいと考えているかお聞きしたところ、「まだ決まっていない」が最も多く59.3%となっています。

また、将来就職するときに、どの地域を希望するかお聞きしたところ、岐阜県内が23.5%、近郊（岐阜市・羽島市・岐南町等）が13.2%、笠松町内が8.8%となり、この3つを合わせた45.5%が岐阜県内での就職を希望しています。その理由は、「家から近い」「地元だから」という意見が多くなっています。また、都会が25.0%、愛知県・三重県が13.2%と県外での就職希望者も一定数いる結果となっています。その理由は、「都会の方が働くところが多い」「都会で暮らしたい」「たくさんの経験ができそう」という意見がありました。

(3) 施策の現況と重要度について

町の行政施策を13に分け、それぞれの取り組みにかかる『現況』と『今後の重要度』についてお聞きしました。

『現況』

「健康づくりの推進」「子育て支援・福祉の推進（高齢者・障がいのあるひと）」に対して、「取り組んでいると思う」・「やや思う」という割合が高く、反対に「地域特性を活かした農業の推進」「商工業の振興」「観光・イベントの推進」「便利で快適な道路網の整備・公共交通体系の充実」に対して、「あまり思わない」・「思わない」という割合が高い結果となっています。

『今後の重要性』

どの項目も重要である・やや重要であるの割合が高く、特に「子育て支援・福祉の推進（高齢者・障がいのあるひと）」92.3%、「便利で快適な道路網の整備・公共交通体系の充実」92.0%、「良好な住環境の創出・循環型社会の構築」90.8%と、非常に重要な施策であると考えられている結果となっています。

施策番号1 健康づくりの推進に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	91	22.6%	重要である	216	53.7%
やや思う	166	41.3%	やや重要である	137	34.1%
どちらとも言えない	97	24.1%	どちらとも言えない	35	8.7%
あまり思わない	38	9.5%	あまり重要ではない	7	1.7%
思わない	7	1.7%	重要ではない	1	0.2%
無回答	3	0.7%	無回答	6	1.5%

施策番号2 子育て支援・福祉の推進（高齢者・障がいのある人）に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	100	24.9%	重要である	301	74.9%
やや思う	163	40.5%	やや重要である	70	17.4%
どちらとも言えない	83	20.6%	どちらとも言えない	20	5.0%
あまり思わない	39	9.7%	あまり重要ではない	4	1.0%
思わない	12	3.0%	重要ではない		0.0%
無回答	5	1.2%	無回答	7	1.7%

施策番号3 幼児教育・学校教育・青少年の健全育成の充実に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	65	16.2%	重要である	255	63.4%
やや思う	138	34.3%	やや重要である	101	25.1%
どちらとも言えない	141	35.1%	どちらとも言えない	37	9.2%
あまり思わない	41	10.2%	あまり重要ではない	4	1.0%
思わない	13	3.2%	重要ではない	0	0.0%
無回答	4	1.0%	無回答	5	1.2%

施策番号4 スポーツ活動の推進に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	45	11.2%	重要である	135	33.6%
やや思う	127	31.6%	やや重要である	155	38.6%
どちらとも言えない	146	36.3%	どちらとも言えない	85	21.1%
あまり思わない	61	15.2%	あまり重要ではない	17	4.2%
思わない	20	5.0%	重要ではない	6	1.5%
無回答	3	0.7%	無回答	4	1.0%

施策番号5 歴史・文化の継承と活用に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	80	19.9%	重要である	109	27.1%
やや思う	159	39.6%	やや重要である	152	37.8%
どちらとも言えない	110	27.4%	どちらとも言えない	99	24.6%
あまり思わない	35	8.7%	あまり重要ではない	32	8.0%
思わない	15	3.7%	重要ではない	6	1.5%
無回答	3	0.7%	無回答	4	1.0%

施策番号6 地域特性を活かした農業の推進に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	20	5.0%	重要である	99	24.6%
やや思う	44	10.9%	やや重要である	126	31.3%
どちらとも言えない	186	46.3%	どちらとも言えない	140	34.8%
あまり思わない	107	26.6%	あまり重要ではない	24	6.0%
思わない	41	10.2%	重要ではない	7	1.7%
無回答	4	1.0%	無回答	6	1.5%

施策番号7 商工業の振興に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	36	9.0%	重要である	134	33.3%
やや思う	78	19.4%	やや重要である	144	35.8%
どちらとも言えない	169	42.0%	どちらとも言えない	102	25.4%
あまり思わない	80	19.9%	あまり重要ではない	12	3.0%
思わない	35	8.7%	重要ではない	4	1.0%
無回答	4	1.0%	無回答	6	1.5%

施策番号8 観光・イベントの推進に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	51	12.7%	重要である	142	35.3%
やや思う	120	29.9%	やや重要である	145	36.1%
どちらとも言えない	110	27.4%	どちらとも言えない	77	19.2%
あまり思わない	84	20.9%	あまり重要ではない	24	6.0%
思わない	34	8.5%	重要ではない	10	2.5%
無回答	3	0.7%	無回答	4	1.0%

施策番号9 便利で快適な道路網の整備・公共交通体系の充実に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	45	11.2%	重要である	238	59.2%
やや思う	130	32.3%	やや重要である	132	32.8%
どちらとも言えない	107	26.6%	どちらとも言えない	23	5.7%
あまり思わない	74	18.4%	あまり重要ではない	2	0.5%
思わない	41	10.2%	重要ではない	0	0.0%
無回答	5	1.2%	無回答	7	1.7%

施策番号10 良好な住環境の創出・循環型社会の構築に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	90	22.4%	重要である	239	59.5%
やや思う	161	40.0%	やや重要である	126	31.3%
どちらとも言えない	89	22.1%	どちらとも言えない	27	6.7%
あまり思わない	44	10.9%	あまり重要ではない	4	1.0%
思わない	10	2.5%	重要ではない	0	0.0%
無回答	8	2.0%	無回答	6	1.5%

施策番号 1 1 防災対策・防犯体制の推進に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	64	15.9%	重要である	275	68.4%
やや思う	158	39.3%	やや重要である	95	23.6%
どちらとも言えない	116	28.9%	どちらとも言えない	26	6.5%
あまり思わない	42	10.4%	あまり重要ではない	0	0.0%
思わない	16	4.0%	重要ではない	0	0.0%
無回答	6	1.5%	無回答	6	1.5%

施策番号 1 2 交通安全対策の推進に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	73	18.2%	重要である	202	50.2%
やや思う	103	25.6%	やや重要である	117	29.1%
どちらとも言えない	148	36.8%	どちらとも言えない	65	16.2%
あまり思わない	55	13.7%	あまり重要ではない	11	2.7%
思わない	18	4.5%	重要ではない	0	0.0%
無回答	5	1.2%	無回答	7	1.7%

施策番号 1 3 住民参加によるまちづくりの推進に取り組んでいると思いますか

現状	回答数	割合	今後の重要性	回答数	割合
思う	58	14.4%	重要である	118	29.4%
やや思う	127	31.6%	やや重要である	145	36.1%
どちらとも言えない	149	37.1%	どちらとも言えない	102	25.4%
あまり思わない	47	11.7%	あまり重要ではない	20	5.0%
思わない	15	3.7%	重要ではない	11	2.7%
無回答	6	1.5%	無回答	6	1.5%

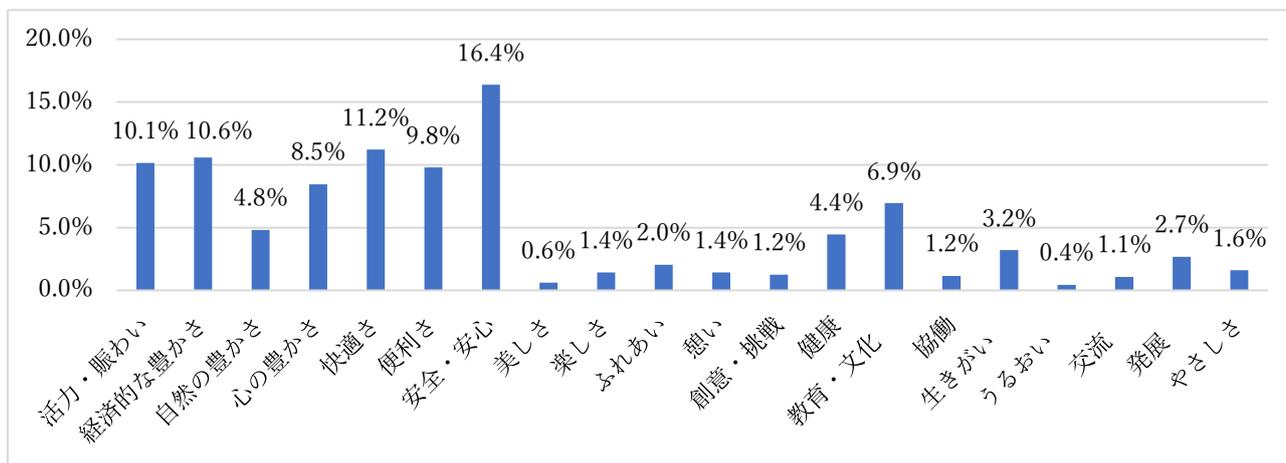
(4) 将来像のキーワードについて

今後、笠松町が目指していくべき将来像を表すキーワードについてお聞きしました。

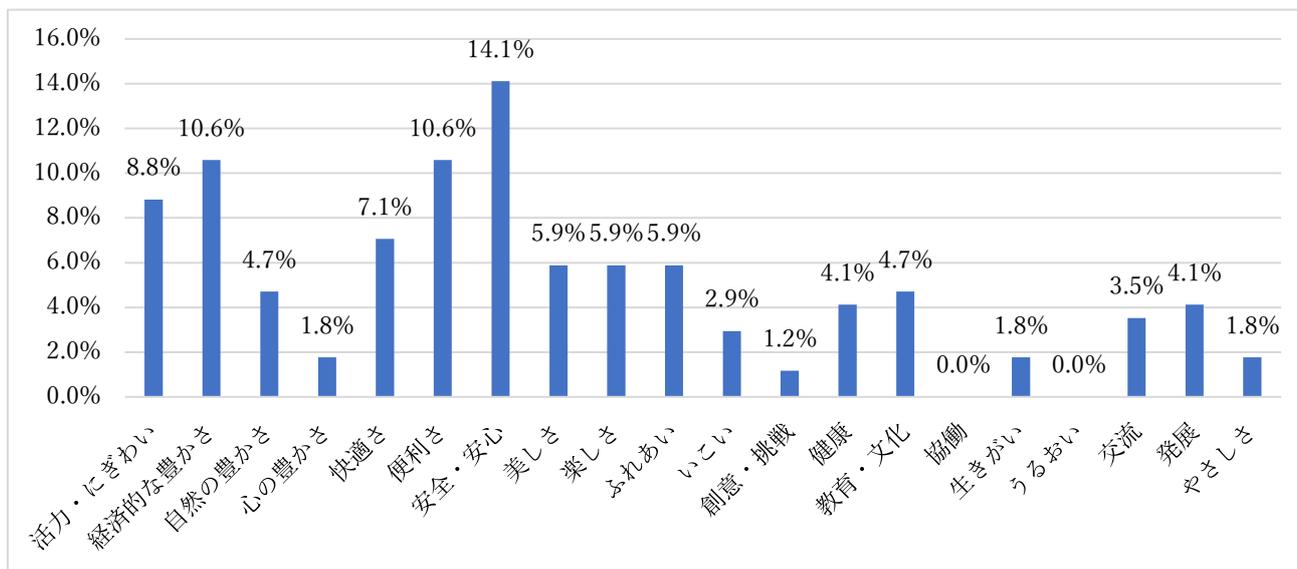
住民意識調査では、「安全・安心」が16.4%と最も高く、「快適さ」11.2%、「経済的な豊かさ」10.6%、「活力・賑わい」10.1%、「便利さ」9.8%という結果となっています。中学生意識調査でも、「安全・安心」が14.1%と最も高く、「便利さ」と「経済的な豊かさ」が次いで10.6%という結果となっており、年代を問わず目指していくべきキーワードは同じ傾向となっています。

また、中学生意識調査では、今後、笠松町が特に大切にすべきこととお聞きしたところ、「ごみの減量化・リサイクル」と「赤字にならない財政運営」がともに15.2%と最も高く、次いで「保健・医療・福祉の充実」と「自然環境の保護」がともに12.1%という結果となっています。

『住民意識調査』



『中学生意識調査』

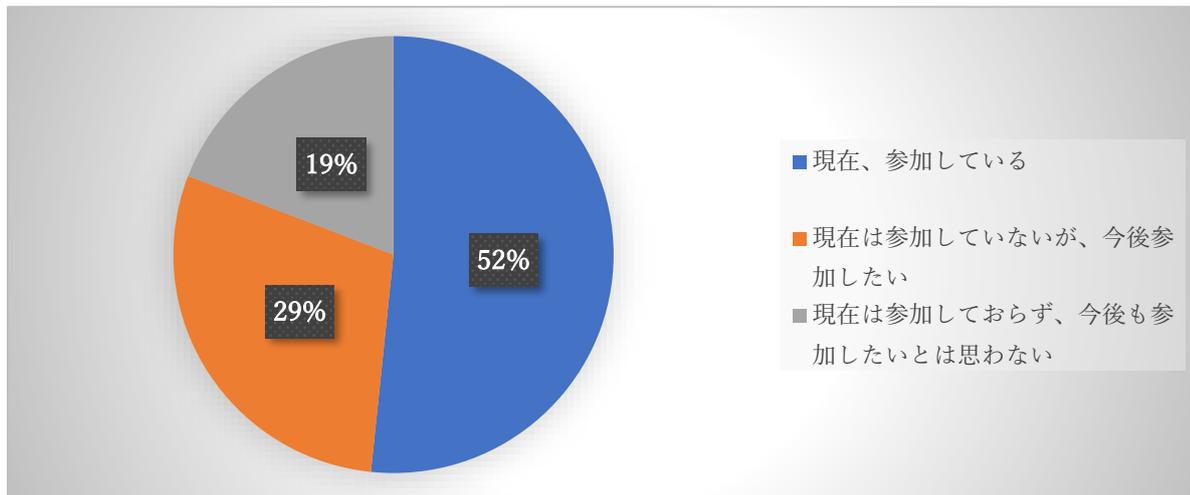


(5)協働のまちづくり

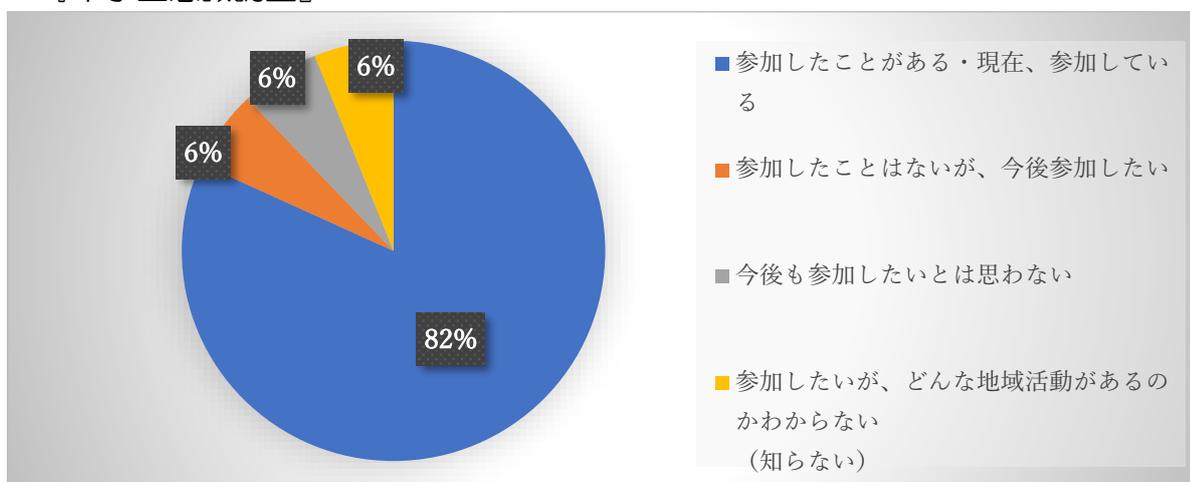
地域活動（町内会活動やボランティア活動）への参加についてお聞きしました。

①あなたは、地域活動（町内会活動やボランティアなど）に参加していますか。

『住民意識調査』



『中学生意識調査』

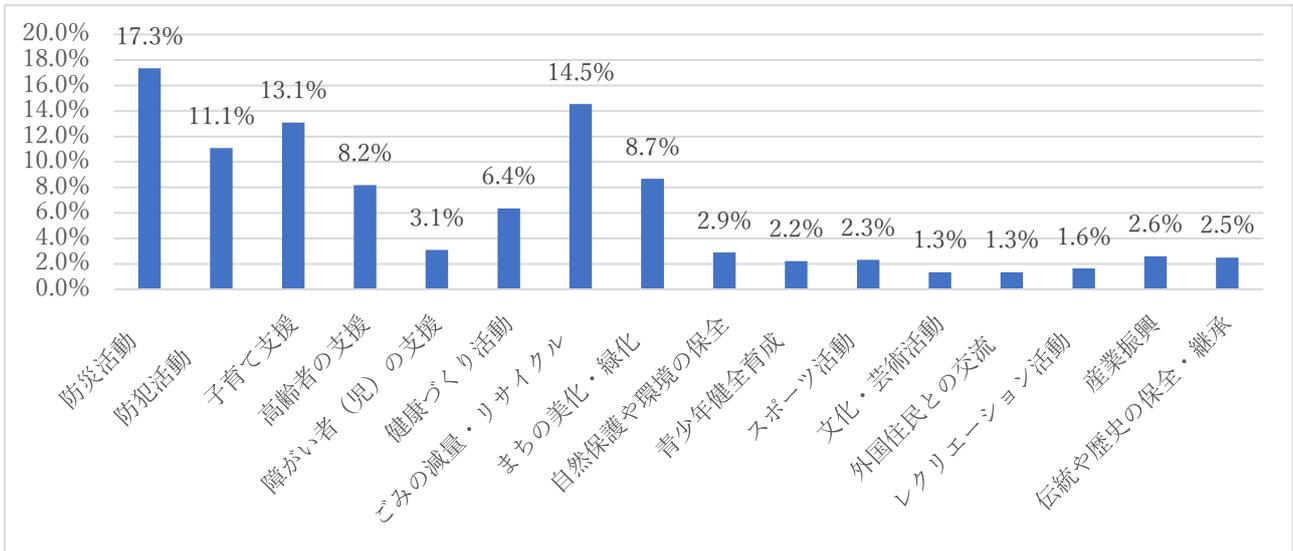


実際に参加したことがある地域活動については、住民意識調査では、「ごみの減量・リサイクル」が17.5%と最も高く、「防災活動」15.5%、「まちの美化・緑化」10.6%、「子育て支援」8.8%、「スポーツ活動」8.2%という結果になっています。

中学生意識調査では、「災害に備える活動」が20.2%と最も高く、「ごみを減らす・リサイクルする活動」14.9%、「まちをきれいにしたり、緑を植える活動」9.5%という結果になっています。

②地域の皆様ができること、やるべきことは何だと思いませんか。

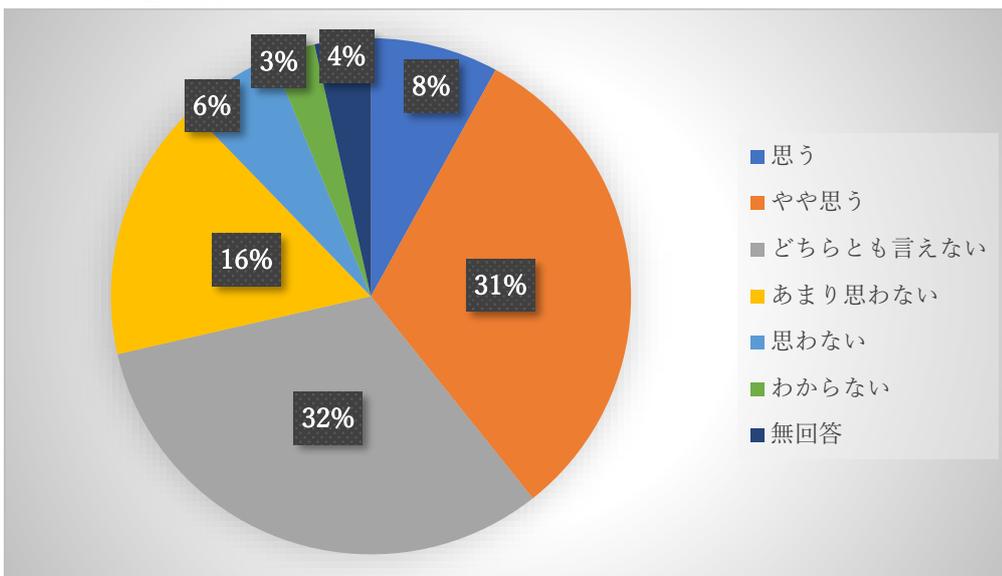
『住民意識調査』



③現在の笠松町では、地域の皆様と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いませんか。

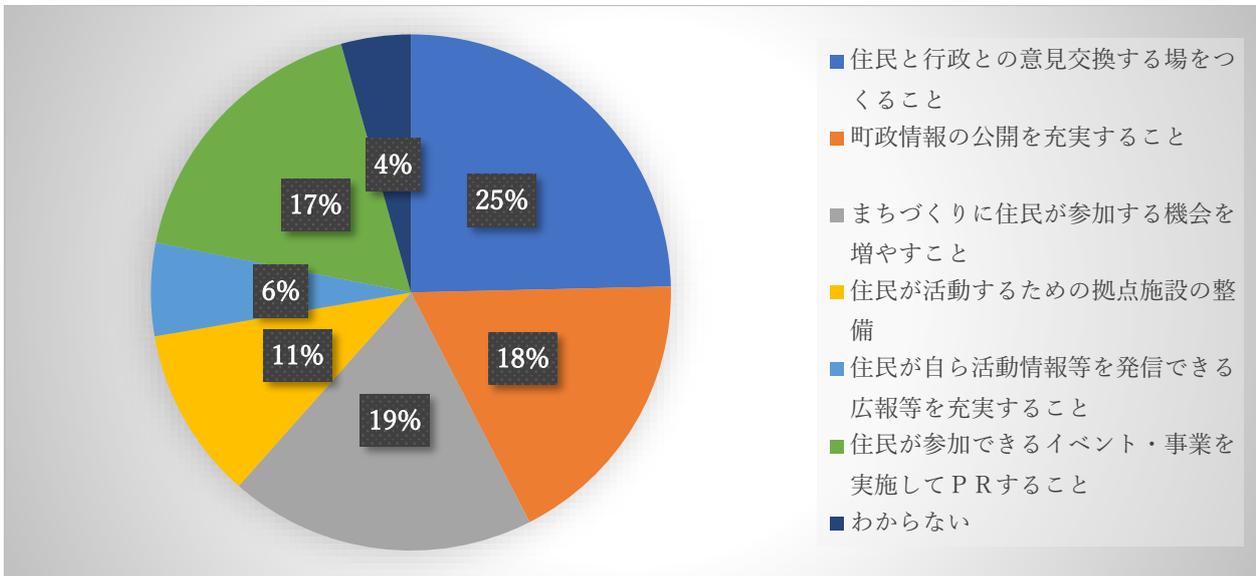
住民意識調査では、「思う」・「やや思う」が合わせて39.3%、「どちらとも言えない」が32.1%、「あまり思わない」・「思わない」が合わせて22.4%という結果になっています。

『住民意識調査』



③地域の皆様と行政が共同でまちづくりを行う上で、あなたが必要だと思うことはどのようなことですか。

『住民意識調査』



(6)あなたが思いつく笠松町の誇れるもの、残したいもの

住民意識調査では、イベント（春まつり、川まつり、リバーサイドカーニバル、町民運動会等）・公園・自然・木曾川・歴史・競馬場・伝統・交通の便の良さ・静かさ・住みやすさ・地元愛・ごみ処理が充実・人のあたたかさ・地元愛・人材などの意見がありました。

中学生意識調査では、人のあたたかさ・イベント（春まつり等）・中学校の体育館・自然・かさまる兄弟・歴史・蹄鉄クッキーなどの意見がありました。

(7)あなたが町長になったらやりたいと思うこと、笠松町がより良いまちになるために力をいれるべきこと(中学生意識調査)

気軽に勉強できる施設・タブレットを全員に配布・娯楽施設やショッピングモールを作る・駅の活性化・イベント・自然の保持・リサイクル活動・伝統行事の継続などの意見がありました。

(8)笠松町のまちづくりについてのご意見等(自由記載)

高齢化対策、道路整備、商店街復活、バスの充実、公園の整備、観光資源を活かす、活気がない、子どもや高齢者が住みやすいまちづくり、防犯対策、ごみ当番の廃止、お店を増やす、避難場所の確保、住民の参加意識を高める、図書館の整備、こども館の整備など、様々な意見がありました。